

特集

卒業生インタビュー①【後編】

ありのままの自分で臨む

— 合同面接会で苦い経験をして以降、訓練にどう取り組みましたか？

MOS試験の合格に向け勉強を続けるとともに、求人検索や面接対策なども並行して行いました。合同面接会以降、間を空けず就職活動にも取り組みましたね。面接会で二社とも不採用となったのはショックでしたが、その結果をあれやこれやと考えることはしませんでした。自分を悩ますだけの情報は「知らない情報」として放っておいたんです。



酷暑の中も元気に出勤し続ける

— 就職活動ではどのようなことを心掛けましたか？

履歴書の志望動機にせよ面接での受け答えにせよ、自分のありのまま、いわば「素の自分」を伝えることができれば、そうもならないことは書かない、言わない。取り繕えば後で苦労することになりやすからね。選考していただく方にも申し訳ないですし、

— 自分に合った職場を見つけたのは？

やはり、自分のありのままをさらけ出せたのが大きいですね。そのためにも、しっかりと自己評価が必要でした。コミュニケーションの中で自分自身を確認する、また読書を通じて自分自身を見つめる。訓練でもそれを意識しました。その繰り返しだったと思います。

— 通所開始から一年半後、事務職として就職を果たした。

推しコメ(フード編)

(筆者: 結城 雪)

チョコみんとクレープ
キッチンカー「ヒミツキチ」



※原料事情により販売がない日もあるのでご注意ください！

見よ！このパフェ：間違えた、クレープを！こちらはキッチンカー「ヒミツキチ」さんの『チョコみんとクレープ』です。トッピングが豪華ですが、実は中にも触感がうれしいチョコスプレー。気になっちゃったそのあなた。まずはインスタで来店情報をチェック！

コラム「自問自答」

(筆者: みなと)

チャレジョブにはコミュニケーションを学ぶセミナーがある。参加していく中で驚きの発見があった。自分の気持ちというものは、相手に伝えなければ伝わらないらしい▼発達障害の症状としてよく言われることが「空気が読めない」。この言葉が流行(はや)る前から私は察することが苦手な自覚があった。しかし、所謂(いわゆる)「普通の人たち」はそれを平然とやっているように見えたため、気持ちというものは察したり察してもらったりするものであり、口に出すのは野暮なことだと思っていた。ところが、発達障害でなくとも相手の気持ちは言わなければわからないものだという▼拍子抜けした。ずっと憧れてきた定型発達の「空気が読める」という能力は相手の気持ちを「推察できる」という能力のように相手の心が読めるというわけではなかったのだ。普通の人って、案外普通じゃん。定型発達の人も、どうやら同じ人間だったらしい。

【気まぐれ欄】 今月のおすすめ本【Book Review】

※今月は読書好きメンバーによるおすすめ本の「書評」です。



『和菓子のアン』
著者: 坂木 司
出版社: 光文社
発行日: 2012年10月11日

【評者: 結城 雪】

日常系お仕事ミステリー小説。和菓子屋で働き始めた杏子(18歳)を待っていたのは、乙女系男子に元ヤン女子、どこかおっさん臭い美人店長…美味しい和菓子と巡るミステリー。ミステリーといえども殺人事件などは起こらない。読めば笑いと謎が巻き起こる。個性が強すぎるキャラクターも魅力だが、注目すべきは自然と身につく和菓子の知識。氷の節句と和菓子との関係や「おはぎ」の名前の七変化など、教養がこれでもかというほど詰まっている。また、「松風」「亥の子餅」「鹿の子」「辻占」等々…美味しそうな和菓子の描写も多く、和菓子好きの方にもおすすめ。あなたもきっと、和菓子を食べたくなる。



チャレジョブセンター熊谷

熊谷市桜木町1-7-9 武州熊谷駅前ビル 3F

TEL: 048-578-8401 FAX: 048-578-8402

チャレジョブセンターHP

<https://challe-job.co.jp>

